

第 14 回理事会議事録

1. 日時 : 2014 年 1 月 24 日 (金) 午後 6 時 30 分～7 時 55 分
2. 場所 : 東京都新宿区四谷 1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル 2F
3. 出席者:【出席 11 名】 鳩山勝郎、山口知也、兼岩芳樹、神代高弘、齋藤陽子、
島村京子、寺本直志、中谷忠義、久富浩、平田眞、山田和彦
【欠席 2 名】 細田博之、ロバート・ゲラー
【監事 1 名】 成田秀則 (大泉紘一、水谷建監事は欠席)
【事務局 3 名】 大政事務局長、清水普及事業部長、鈴木競技会事業部長代行
【オブザーバー 1 名】 宮内宏顧問弁護士
(理事現在数: 13 名、定足数 7 名、本人出席 11 名)

4. 議事の経過及び結果

鳩山勝郎会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 13 回理事会議事録案の承認について

議事録案を承認した。

フィリピン・レイテ島台風災害義捐金に対して、Ateneo de Manila University から感謝状を受領したとの報告があった。

第 2 号議案 役員候補選出委員会の設置および委員長を選出について

役員候補選出規則に規定された役員候補選出委員会を設置し、委員長候補として清水康裕氏に就任を打診することに決定した。

第 3 号議案 平成 26 年度予算案および事業計画書について

大政事務局長より予算案に関する 1 月 15 日開催の業務執行会議において検討された内容について説明があり、来年度以降は各事業部で予算編成を行い、それをまとめた時点で業務執行会議を開催し、各事業部の予算について拡大、縮小の検討を行う事になった。その後企画委員会での予算審議の際に各事業部の業務執行理事が委員として出席する事で、「拡大企画委員会」として開催するとの説明があった。

予算案については 12 月開催の理事会において提出された金額と変わっており、今後人件費修正の可能性はあるが、均衡予算を維持する方針との説明があった。

事業計画書については企画委員会活動報告で報告すると説明があった。

第 4 号議案 各委員会及び事業部報告

1. 企画委員会

山田企画委員長より 1 月 17 日に開催された企画委員会での議事内容について説明があった。

● 平成 26 年度予算案

今年度予算案との隔たりが大きい項目について各事業部担当者から説明があった。

普及事業部：均衡予算とするため、約 500 万円を削減

競技会事業部：公認料率の変更により約 1,500 万円の減収、シニア割引廃止により約 2,500 万円の増収

国際交流事業部：アジアカップシニアチーム日本代表に対する助成金を計上

その他：消費税は公益から収益部門に移し、税額を 500 万円から 700 万円に増額

● 移管競技会について

今年度ブリッジセンターに移管したりジョナル競技会について、連盟と移管を受けたセンターの間で賞品等に関する条件の理解に相違があったため、文書にして明確にする。移管競技会の運営状況について競技会事業部が検証する。

● 事業計画書・報告書作成予定

事業計画書は 1 次案を 1 月末までに事務局で作成して委員に配布し、2 月開催の企画委員会で内容を検討する。その後 3 月開催の企画委員会で検討後 3 月開催の理事会で承認する。

事業報告書は平成 25 年度事業計画書に記載された各事業の達成状況を検証した内容で作成する。

● センターとの協議

これまでセンター協議 WG でリジョナル移管、初心者向け競技会の公認料免除、公認料率の変更などを行ってきたが、来年度以降もセンターとの協議を継続する予定で、具体案を 3 月開催の理事会で提案すると説明があった。

● 公認クラブ規則改正案

公認クラブ規則の改正案として「公認クラブとブリッジセンターに関する規則」が提出された。

公認クラブについてはほとんど内容に変更はなく、センターについて、これまで義務違反に対し承認の取り消ししかなかったが、義務違反に対して是正勧告ができるようになったとの説明があった。

神代理事からクラブ規則とセンター規則に分離してはどうかと提案があった。

中谷理事より当面はこの形で運用し、クラブ/センター設立の手引きを作成する提案と、事務局でセンターの活動をチェックする体制を作る必要があると発言があった。

宮内弁護士より、第1条のみ第1章 総則、第2条から第21条を第2章 公認クラブ、第22条以降を第3章 公認センターとする提案があり、検討の結果、第33条を第4章 公認クラブに関する特例と別の章とすることに決定した。

また、附則が旧規則について記述されているため、2014年1月改正分の附則を記述することとして改正案を承認することに決定した。

2. 代表選抜委員会

第2回アジアカップシニアチームの申込が出場枠の2チームに留まったため、代表選抜試合を行わず、以下の2チームを日本代表チームとして承認した。

1. 朝岡健一、小阪泰子、藤本たか子、川畑章子、杉野すみ子、高橋和子
 2. 山田彰彦、大野京子、井野正行、平田眞、今倉正史、山田和彦
- 助成については前回の理事会での決定通り、オープン/ウィメンの半額を各チームメンバーに助成し、キャプテンが2チーム共通の場合はオープン/ウィメンと同額、各チームが別のキャプテンを指名した場合は半額とすると説明があった。

3. 競技委員会

寺本競技委員長より1月10日に開催された競技委員会の議事内容について説明があった。

渡辺杯のVPスケールをEBUで使用されている20VPスケールを採用する事になったと説明があった。

競技会運営規則（競技会規定改正案）が提出され、検討の結果これを承認した。

4. ルール委員会

宮内ルール委員長より1月21日に開催されたルール委員会の議事内容について説明があった。

5. 普及事業部

清水普及事業部長より普及事業部活動報告があった。

- プレイヤーズサロンを四谷に加えて1月より渋谷ブリッジセンターで開催した。アシスタント料2名分を助成する。
- 東京大学、早稲田大学、福岡大学、青山学院大学の講座受講者および単

位取得者数について説明があった。

中谷理事より一斉広告に対する効果について報告を求める発言があり、理事会終了後に清水普及事業部長より資料提出すると報告があった。

6. 競技会事業部

鈴木競技会事業部長代行より競技会事業部活動状況及びゴールドライフマスター2名、シルバーライフマスター3名、シニアライフマスター3名、ライフマスター10名の資格取得者の報告があった。

朝日新聞社杯の参加チーム数が165チームと過去最高になったと報告があった。齋藤理事よりフライトAのみ全ラウンド組み込みハンドで行われたことについて他のフライトについても何らかの対応はできないかとの質問があり、中谷競技会担当理事より組み込み用のボードの確保を含めて対応できるように努力すると説明があった。

山田理事よりナショナルのスイスチーム戦はすべて共通ハンドでできるように規定できないかと提案があった。これについても中谷理事より今後実現するように検討するとの説明があった。

7. 国際交流事業部

大政事務局長より NEC 杯参加チーム数について、昨年とほぼ同数になったとの報告があった。

中谷国際交流担当理事より 2015年 Yeh Bros 杯をシンガポールまたはバンクーバーで開催予定だったが、2013年に続いて日本で開催してほしいとの打診があったとの報告があった。会場確保の問題もあり、本年5月に役員の改選があるため、新体制に移行後検討して回答することになった。

第5号議案 その他の議案

1. 正会員の承認について

以下の会友より提出された入会申請につき審議を行い、これを承認した。

高崎恵（会員番号 102492）

2. 次回の理事会開催について

次回理事会は 2014 年 3 月 20 日（木）18 時 30 分より開催する。

当日配布書類：第3号議案「業務執行会議議事録」「予算案総括表」「平成26年度正味財産増減予算書」

第4号議案「企画委員会議事録」

「公認クラブとブリッジセンターに関する規則」

「ルール委員会議事録」

「正会員の申込について」

平成 26 年 1 月 24 日 (2014 年)

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 14 回理事会

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 成田 秀則